

4. 肝癌

■エピルビシンによる肝動脈化学塞栓療法

エピルビシン 60mg/m² (腫瘍血管に乳濁液が充満した時点で終了)
 ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステルと混合し肝動脈内に投与

■ミプラチン肝動注療法

ミプラチン 腫瘍血管に懸濁液が充満した時点で終了(上限 120mg)
 繰り返し投与する場合は、4 週間以上あける

■シスプラチン肝動注療法

シスプラチン 65mg/m²
 28~42 日ごと

■アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法

アテゾリズマブ	1200mg/body	Day1	
ベバシズマブ	15mg/kg	Day1	
21 日ごと			催吐リスク：最小

■ソラフェニブ療法

ソラフェニブ	1 回 400mg	1 日 2 回	連日内服
			催吐リスク：最小

■レゴラフェニブ療法

レゴラフェニブ	1 回 160mg	1 日 1 回	Day1~21
28 日ごと			催吐リスク：軽